

未来社会工学開発研究センター

平成 29 年 4 月 1 日 発足

Society5.0 を実現するモビリティ・インフラの先端研究拠点

未来社会工学開発研究センター（通称、F-MIRAI）は、筑波大学とトヨタ自動車（株）によって、「Society 5.0 を実現するモビリティインフラの先端研究拠点」として設立されました。サイバニクス研究センター長、内閣府のFIRST、ImPACT プログラムの責任者としての経験を活かし、当該センターの長として責務を果たします。社会工学等を中核とした研究者との連携、国際統合睡眠医科学研究機構やサイバニクス研究センターなどと連携し、学際性ある融合研究を強化して、組織的な産学官連携による拠点形成を進めます。2021年度は、「モビリティイノベーションの社会応用と未来社会工学研究～ヒューマンセントリックな革新的都市の実現と地域の自立的な存立の貢献に資するための研究～」を中心に、産学協働によって素晴らしい成果が得られるよう取り組んで参ります。

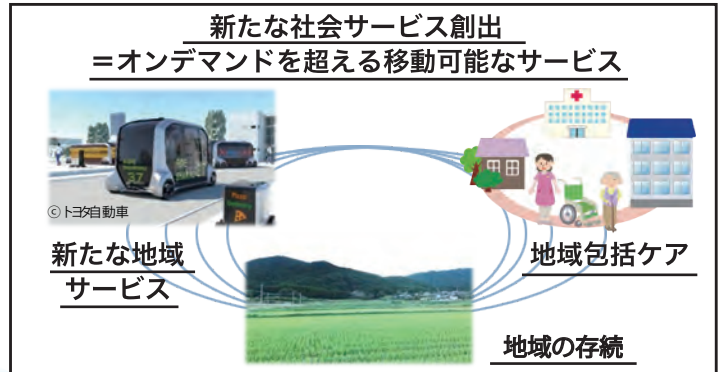


山海嘉之センター長

センターのミッション Society5.0を実現するモビリティ・インフラの先端研究拠点

《社会課題解決》

《経済成長》



ヒューマンセントリックな革新的都市の実現と地域の自立的な存立

